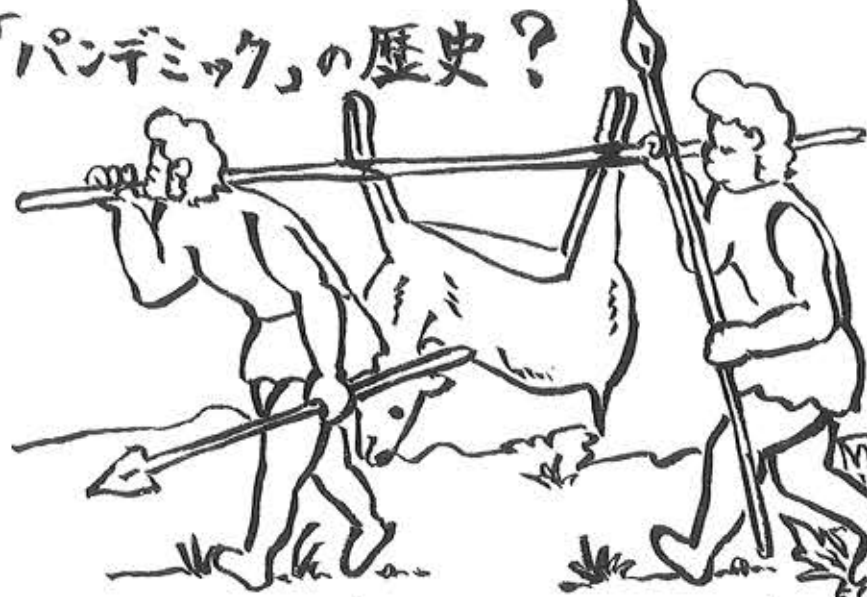


「パンデミック」の歴史？



運輸・物流技術の発展によって世界は急速にグローバル化しています。それに伴い人だけではなくウイルスも数時間のうちに世界中に運ばれるようになりました。

狩猟採集社会だった時代、人は同じ

場所にとどまることなく、小さなコミュニティを形成して生活していました。

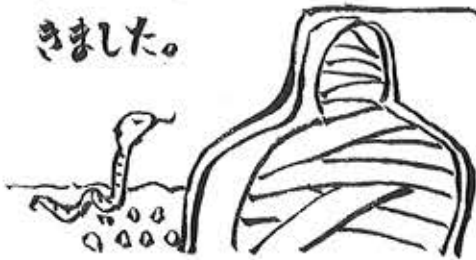
そのため感染症の流行は現代ほど続き、しかしおよそ1万年前に人は農耕を行うようになり、家畜と共に暮らすようになり、これによって、人と動物の間で細菌やウイルスの感染が広がりました。



まわりました。

2010年に発生したハイチ地震では何千人もの人が仮設キャンプに住むことを余儀なくされました。最週間で仮設キャンプはコレラ菌の温床となり、不衛生な環境も相まってハイチ全土に流行することになりました。このように細菌やウイルスの感染はあつという間に拡大します。特に世界規模で猛威を振るうのが、はしかウイルスやインフルエンザウイルス、HIVなどで、こうしたウイルスの感染が世界規模に拡大すると「パンデミック」と呼ばれます。

病原体には感染者の組織や骨に痕跡を残すものがあり、抽出されたDNAから特定されることもあります。例えば古代エジプトのミイラから、結核菌のDNAが検出されたこともあったそうで、人類は古来から目に見えないウイルスによって脅かされてきました。



2011年、イギリスのロンドンにあるペスト患者の埋葬地を研究していたチームは14世紀に流行した黒死病の病原体であるペスト菌を回収、1340年に中国で流行したペストがシルクロード

を通る貿易商人によって、モンゴル帝国を經由してクレミア半島に伝わったこと、その後1347年にペスト菌は地中海まで感染を拡大、1400年までにヨーロッパで3400万人以上の方が亡くなりました。そんなペストをしのぐほど、感染性が高いのがインフルエンザウイルスで世界中で毎年流行しています。

またインフルエンザウイルスは変異しやすく豚や鳥といった家畜から人に感染するものもあります。

インフルエンザウイルスのパンデミックは過去に少なくとも6回も起っています。中でも特に死者が多かったといわれるのが1918年に起きたパンデミックで「スペインかぜ」と呼ばれます。

スペインかぜは第一次世界大戦中にフランス北部に渡ったアメリカ軍の兵士から始まり、9月にはアメリカのボストン近郊の兵舎で次々と倒れ、フランス、イギリスにインフルエンザウイルスを持ち帰って1919年4月にパンデミックが収束するまでに推定でアメリカ67万5千人、イギリスで23万人、インドでは14万人以上が亡くなり、全世界での死者数は5000万人に達したともいわれています。

そして無行機で世界中の人が簡単に旅行できるようになったことでウイルスもあつという間に世界中にまん延するようになりました。

次の一例が2003年に発生したSARSの病原体であるSARSコロナウイルスです。SARSの流行が収束するまで4ヶ月ほどかかったこと。

SARSの際にはウイルスの拡大を迅速に抑えることができたといえますが、インターネットには陰謀論や風評被害が横行し、経済被害は1兆1千億円ともいわれていて、この時もマスクの値が上がりました。

「パンデミック」は小規模の感染から始まり拡大、その被害の深刻さは戦争や自然災害に匹敵することも歴史から学ぶことができます。

